

26年の経済展望語る

ぎふしん新春合同講演会

岐阜信用金庫と取引先の若手経営者でつくる「ぎふしん青年重役会」は13日、「ぎふしん新春合同講演会」を岐阜市内で開いた。日本総合研究所チエアマン・エメリタス(名誉理事長)の高橋進氏が「どうなる!? 2026年経済の展望」と題して講演した。

約630人が出席。高橋氏は足元の日本経済について、輸出や住宅投資の減少で「少し足踏み状態となっている」とした上で、「個人消費はそこまで悪くなく、設備投資も活発で、先

行きも似たような構図で少しずつ良くなっていくのでは」と緩やかに回復するとの見通しを示した。

インバウンド(訪日客)需要は、円安も相まって「堅調に推移していくのではないかと」とし、企業の賃上げについては「昨年ほどではないにしても、そこそこ上がるのではないかと予想している」と語った。

講演会後には、ぎふしん青年重役会の新年交流会も行われた。



日本や世界の経済展望について講演する高橋進氏。岐阜市長良、岐阜グランドホテル